





テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

令和元年 **5** 月の**優しさ**通信

目次

- (1)  近隣に食料品店ない高齢者 認知症リスク高く
 - (2)  介護保険料、年 10 万円超に 2019 年度 会社員、平均 6%上昇
 - (3)  75 歳以上世帯が 1 / 4 2040 年推計 単身は 500 万人超
- ♥今月の福祉用具-起居関連用具 その3 ベッド その5 特殊寝台付属品**

- (1)  近隣に食料品店ない高齢者 認知症リスク高く

東京医科歯科大など調査

*自宅近くに生鮮食料品店が「全くない」と思う高齢者は、「たくさんある」と思う高齢者に比べて認知症のリスクが 1.65 倍。

*新鮮な商品を選んだり、献立を考えたりする過程が、認知機能に好影響を及ぼしている可能性。

(2019 年 4 月 11 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (2)  介護保険料、年 10 万円超に



2019 年度 会社員、平均 6%上昇

*大企業の社員らが入る健康保険組合で、介護保険料の負担が急速に増しています。

・加入者 1 人当たりの納付額の平均は約 6,000 円 (約 6%) 増え、初めて 10 万円を超えました。

*健康保険組合は約 3000 万人の加入者。

・このうち 40~64 歳の従業員から介護保険料を徴収。

*介護保険料が急増している要因の一つが、所得の高い会社員に保険料の負担増を求める仕組みにあります。

*もう一つの要因は、介護サービスの費用が医療費を上回るペースで膨らんでいること。

・医療費は 2010 年度から 2018 年度の間約 2 割増えましたが、介護サービスの費用は同じ期間に約 5 割増えました。

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

※介護保険料 給付費膨張、負担増に直結

*40歳以上の国民が介護サービスに備えて支払う保険料。

・65歳以上の高齢者が介護サービスの提供主体である市町村に直接支払う「第1号保険料」と、40~64歳の現役世代が健康保険組合などを通じて納める「第2号保険料」。

*介護費用から利用者負担を除いた「介護給付費」のうち、半分为保険料、残りの半分为税金。

*第1号保険料の2018年度から2020年度の全国平均は、月額5,869円。

(2019年4月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) 75歳以上世帯が1/4 2040年推計

単身は500万人超 介護・年金変革迫る

*2040年には世帯主が75歳以上の世帯が1217万と、全体の4分の1を占めます。

*一人暮らしは全体で1994万人と全世帯の約4割。

・75歳以上の一人暮らしも500万人を超えます。

*全体の世帯数は2015年に5333万。2040年には5075万世帯まで減る見通し。

*人口が2008年をピークに減少。世帯数も2025年の5411万世帯を境に減少に転じます。

単身高齢 都市部でも増加 2040年推計、東京・大阪45%超 生活の支え、整備急務

	全世帯に占める高齢世帯の割合		高齢世帯に占める一人暮らしの割合
	2040年 (%)	2015年 (%)	2040年 (%)
全国	44.2	36.0	40.0
奈良	50.3	40.9	37.4
和歌山	50.1	43.7	41.7
兵庫	47.1	37.9	42.2
京都	44.6	36.6	42.9
大阪	44.0	36.2	45.4
滋賀	41.6	33.4	35.6
愛知	39.9	32.5	38.0
東京	36.3	29.1	45.8

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

高齢世帯 近畿 45% 奈良・和歌山は半数超 2040年推計

*世帯主が65歳以上の高齢世帯は、近畿で2040年に3,725,000、全世帯に占める割合は45%に。2015年から8ポイント上昇。

・高齢人口に占める一人暮らしの割合は25%。

*近畿では、全世帯数のピークは2020年。

*一人暮らし世帯は2040年に近畿で3,297,000。2015年比で7%増。全世帯に占める割合も40%に。

(2019年4月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具-起居関連用具 その3



ベッド その5 特殊寝台付属品

☆サイドレール

*寝具や身体の落下予防、寝返り、起き上がりなどの初期動作に利用。

☆マットレス

*マットレスの機能として、寝心地の良さ、寝返りのしやすさ、起き上がりのしやすさ、端坐位の安定性が重要です。

・さらに、ベッドの背上げ、膝上げに対する追従性も。

・寝心地の良さには、適度な軟らかさ、通気性などが重要。

*マットレスの素材には、合成繊維、ウレタン、スプリング、エア-、ウォーターなど。

・スプリングマットレスは、ベッドの背上げ、膝上げ機能に追従しにくい場合も。

・合成繊維マットレスは、洗浄や消毒のしやすさ、耐久性の面からレンタル向き。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

